

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市型ビジネスの立地促進					整理番号	131	枝番号			
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051501	連絡先電話番号	3075	昨年度整理番号	134	昨年度枝番号				
係名	商工係	上位施策名					No					
予算事業名	みどりの産業の振興	コード	17500	新しい産業の育成・支援					44			
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区創業支援施設運営要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	創業予定者に対しSOHO事務所を貸す。創業を志す人にセミナーを開催し、起業のための基礎的な知識や情報を提供する。創業に興味がある学生を対象に講座を開催し、将来起業する意識を高くむ。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	活動指標名(式)	(1) 入居事業所数 (2) セミナー参加者数					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入居して事業活動を行っている事業所数 (2) (代) 区内事業所数					
区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		所	9	9	9	9	9	9	100.0		
	活動指標(2)		人	212	200	76	200	229	200	200	114.5	
	成果指標(1)		所	9	9	9	9	9	9	9	100.0	
	成果指標(2)		件	22,175		20,621		20,621				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,598	15,640	7,984	11,826	9,846	12,826	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) (代) 区内事業所数は、 事業所・企業統計調査 より引用		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	3,000	3,400	1,439	4,699	4,061	5,700			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.83	0.80	0.84	0.80	0.82	0.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,553	7,248	7,610	7,248	7,429	7,248		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	20,151	22,888	15,594	19,074	17,275	20,074			
	単位あたりコスト(-)÷		円	2,239,000	2,543,111	1,732,667	2,119,333	1,919,444	2,230,444			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	20,151	22,888	15,594	19,074	17,275	20,074				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			阿佐谷キック・オフ/オフィス運営					9	室	7,390		
			起業家養成講座(起業家向け・小学生向け3校)					3	回	457		
			コミュニティビジネスセミナー					1	回	1,999		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 131 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	114.5	18年度予算 執行率%	83.3
	起業支援セミナーは基礎編・実践編の2部制で実施しているが、受講生も昨年より増え、セミナー終了後の商工窓口への起業相談も増えている。小学生向けの起業家養成講座は、経済産業省のモデル事業として教育委員会指導室と連携して行なったため実際の事業費の支出はなし。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
-----------------------------------------------------------------	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	阿佐谷キック・オフ/オフィスは、JR阿佐ヶ谷駅前という立地条件および施設内の情報通信環境も高く、入居者から好評である。入居者の事業分野は、情報通信・コンピュータソフトなどが多く、入居者同士の仕事のやりとりもある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	起業家養成講座は受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容が望まれている。また、区主催の講座に参加することで区からの援助・委託事業などを期待する声がある。
	今後の予測	団塊の世代の人たちの持っている能力やネットワークなどを活用するための育成講座・支援セミナーの充実、活動場所の提供などニーズが高まる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 専門能力を持った団塊世代が果たす役割は地域の課題解決に有効となるため、コミュニティビジネスの起業を決断する際のきっかけとなる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 各セミナーの実施方法の見直しを行い、内容・講師など全体をコーディネートする団体と調整しながらすすめる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すでに必要な経費を徴収している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: すでに必要な経費を徴収している。NPO等に事業の委託を行なっているためコストを抑えるのは困難である。予算の中で内容の充実を図っていきたい。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 セミナーはすべてNPOに委託している。今後、セミナーを委託していくにあたり、それぞれの講座に適したノウハウを持つNPO等の開拓が課題である。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 コミュニティビジネスセミナーは、同様の趣旨の講座が、すぎなみ地域大学において実施されているため、19年度をもって廃止する。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 コミュニティビジネスセミナーは、同様の趣旨の講座が、すぎなみ地域大学において実施されているため、19年度をもって廃止する。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(アニメイベント)					整理番号	134	枝番号		
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051503	連絡先電話番号	3077	昨年度整理番号	137	昨年度枝番号			
係名	アニメ係	上位施策名					No				
予算事業名	アニメの杜すぎなみ	コード	17700	新しい産業の育成・支援					44		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある方		根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	アニメ産業の発展・支援のため、区内アニメ事業者のPR支援 アニメーションに対する理解を深めるためのワークショップの実施 アニメ作品上映等に取り組む。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区の産業資源であるアニメーションを題材としたフェスティバルを開催し、アニメーション産業の振興及び地域住民の多くの人々にアニメーションに親しみ、理解を深めてもらう機会を提供することを目的に実施する。					
	活動指標名(式)	(1) アニメーションフェスティバル来場者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
		(1) アニメーションフェスティバル来場者数		(2)		(1) アニメーションフェスティバル来場者数					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	6,930	7,000	7,965	8,000	8,054	8,000	9,000	89.5	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	人	6,930	7,000	7,965	8,000	8,054	8,000	9,000	89.5	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,000	8,000	10,699	13,200	12,187	11,200	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円			2,487	2,500	1,991	2,500			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.52	0.50	1.04	1.00	1.09	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,732	4,530	9,422	9,060	9,875	9,060		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	12,732	12,530	20,121	22,260	22,062	20,260			
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,837	1,790	2,526	2,783	2,739	2,533			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	12,732	12,530	20,121	22,260	22,062	20,260			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	アニメーションフェスティバル負担金		1	式	6,000						
	杉並公会堂使用料負担金		1	式	1,571						
	東京国際アニメ負担金		1	式	2,000						
	事業委託料		1	式	1,991						
	その他 (需用費・郵便料・使用料)				625						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 134 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.7	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	92.3
	前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)					

事業環境の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度から開催し、今年で7回目を迎え、アニメーション産業の支援・情報発信・普及啓発に貢献を果たしてきた。特に17年度からアニメーションミュージアムの運営を委託している日本動画協会と連携を図ることにより、今まで以上に多くの情報を発信することができ、区民の認知度も上がりイベントとして人気定着してきた。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	アニメーションフェスティバルやアニメーションミュージアム等で開催するパラパラアニメやクリエイティブアニメのワークショップに対する参加も多く、アニメーションの原理が分かる様々な制作を体験したいという要望が多い。
	今後の予測	現在、杉並区のほか東京都を始め、周辺地域でアニメに関するフェスティバルを開催している。今後は周辺各自治体が連携することにより、「世界一のアニメ産業集積地」であることをPRすることができる。また、18年度決定した「すぎなみアニメキャラクター」を活用することにより、幅広い普及啓発が可能となる。

事業の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:今年度で7回目を迎えるアニメーションフェスティバルは、アニメーション産業のPR・アニメの普及に大きく貢献してきた。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:アニメーションミュージアムとの連携させることで大きな成果を上げた。今後は更に動画協会と連携していくことで内容を充実させることができる。また、杉並アニメキャラクターを活用することによりフェスティバルの幅を広げることができる。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:現在、ワークショップ材料費を自己負担にしているが、大変な人気である。今後は、よりフェスティバルの企画をより充実させることで、実費程度の受益者負担は可能である。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:動画協会を中心とし、アニメーションミュージアムに企画展等との連携や都や近隣区市と連携を取りPRしていくことでコストを下げることは可能である。	

協働等 点 検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題:アニメーションフェスティバルは区・杉並アニメ振興協議会・東京商工会議所杉並支部・NPO・動画協会にて実行委員会をつくり共催で開催している。	
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会] (具体的内容)		

今後の 事業の あり 方 (中 長 期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 アニメーションフェスティバルは区・杉並アニメ振興協議会・東京商工会議所杉並支部・NPO・動画協会にて実行委員会をつくり共催で開催している。今後は、杉並アニメ振興協議会・動画協会などの団体が主体となった事業になるよう調整を図っていく	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 アニメ制作会社は、本来の業務が多忙のため余裕が無く、フェスティバルなどの事業に割く時間が取れない状況である。今後はフェスティバルを更に魅力あるものにして受益者負担を見直し、プロデュースを担当したアニメーターに費用弁償できるようにするなど参加意欲を持たせることが必要である。	
20 年度 方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 区と共に杉並アニメ振興協議会や動画協会などを中心とし、例年と同程度の予算の範囲内で進めていく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(人材育成)				整理番号	135	枝番号			
担当部課名	区民生活部産業経済課	コード	051503	連絡先電話番号	3077	昨年度整理番号	138	昨年度枝番号	1		
係名	アニメ係	上位施策名				No					
予算事業名	アニメの杜すぎなみ	コード	17700	新しい産業の育成・支援				44			
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	14 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	アニメーターを目指す人を対象に、動画を中心にアニメ制作の技法を磨くために杉並アニメ振興協議会加盟のスタジオで実習形式の研修(6ヶ月)を実施する「アニメ匠塾」を開講する				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 動画の制作工程が韓国や中国など海外に下請けに出され、空洞化してきている「作画」技術者の人材育成を行うことにより、制作会社への雇用につなげることを目的とする。					
	活動指標名(式)	(1) 研修生一人あたり費用 (2) 研修生受入数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人の割合 (2)					
指標	区分	単位	16年度実績	17年度計画	17年度実績	18年度計画	18年度実績	19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)	千円	586	500	655	500	527	500	400	131.8	
	活動指標(2)	人	7	8	8	8	6	8	10	60.0	
	成果指標(1)	%	80	88	75	88	100	88	90	111.1	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,320	4,000	3,930	4,000	3,160	4,000	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	3,320	4,000	3,930	4,000	3,160	4,000			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.52	0.50	1.04	1.00	1.09	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,732	4,530	9,422	9,060	9,875	9,060		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	8,052	8,530	13,352	13,060	13,035	13,060			
	単位あたりコスト(-)÷	円	13,741	17,060	20,385	26,120	24,734	26,120			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	8,052	8,530	13,352	13,060	13,035	13,060			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	事業委託料						1	式	3,160		
	その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			杉並アニメーションミュージアム運営					整理番号	136	枝番号		
担当部課名		区民生活部産業経済課		コード	051503	連絡先 電話番号	3077	昨年度 整理番号	138	昨年度 枝番号	2	
係名			アニメ係			上位施策名			No			
予算事業名			アニメーションミュージアム運営			コード	17720	新しい産業の育成・支援			44	
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		15年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある人		(1) (2) (3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			日本のアニメの歴史や制作工程を紹介し、アニメを体系づけて学び、体験できる施設として運営。アニメ監督などの人物アーカイブをはじめ、アニメ関連資料を展示する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） こどもからシニアまで幅広い世代にアニメを親しむ機会を提供し、アニメ産業に対する理解を深めてもらうとともに、「アニメのまち・すぎなみ」を周知する。						
	活動指標名(式)			(1) 年間来場者数 (2) 開館日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 一日あたり来場者数 (2)						
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
	活動指標(1)		人	10,694	計画	実績	計画	実績	50,000	55,000	87.6	
	活動指標(2)		日	23	305	306	306	306	306	306	100.0	
	成果指標(1)		人	465	164	147	164	158	164	180	87.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	101,412	48,777	47,923	53,091	62,111	68,078	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	86,004	44,065	44,209	46,882	48,326	57,074			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.50	1.04	1.00	1.09	1.00	アニメーションミュージアムは平成17年3月5日に開館したため、平成16年度実績については約1ヶ月間の来館者数を活動指標として掲載した。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,550	4,530	9,422	9,060	9,875	9,060			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	105,962	53,307	57,345	62,151	71,986	77,138			
	単位あたりコスト(-)÷		円	9,909	1,066	1,272	1,243	1,494	1,543			
	財源	受益者負担分		千円		2,850						
		国・都等からの支出金		千円	58,000		4,000	10,000	16,666			
特定財源計 +		千円	58,000	2,850	4,000	10,000	16,666	0				
差引: 一般財源 -		千円	47,962	50,457	53,345	52,151	55,320	77,138				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)			
			アニメーションミュージアム運営委託				1	式	44,475			
			アニメーションミュージアム運営及び資料収集需用費				1	式	8,300			
			備品購入費				1	式	2,611			
			アニメーションミュージアム広告料等役務費				1	式	2,161			
			その他 (事務処理委託料、機械賃借料、保守委託料等)				1	式	4,564			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 136 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	96.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	117.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)						

事業環境の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成15年4月1日に、「杉並アニメ資料館」として開館し、平成17年3月5日に杉並区のアニメーション産業の振興の核となる施設として拡充し、「杉並アニメーションミュージアム」として新たに開館した。運営は日本動画協会に委託している。また、18年度にはシアターの音の反響対策・デジタルワークショップの充実・アニメ資料の充実などを実施した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	
	今後の予測	日本動画協会に運営を委託したことで、会員各社の協力が得られやすくなり企画展やワークショップの充実を図ることができた。また、シアターの音の反響対策を施すなど施設の充実も図ることができた。今後は、国や都のほか動画協会以外のアニメ関係団体などとも連携を図っていくことで、アニメ関係の情報発信機能を高められる。

事業の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: ・区内小学校の課外授業のほか、修学旅行、海外からの見学者が年々増えている。 ・ワークショップなどを開催することにより、アニメに対する理解を深める機会を提供できている。 ・企画展・ライブラリー・ワークショップなどの充実により、リピーターも増えてきている
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 運営を動画協会に委託したことにより、民間のノウハウや経験を有効活用し、更にワークショップや企画展を充実させていく一方で、人物アーカイブの充実などアニメ資料の収集も進めることができる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 年々増えている修学旅行や海外からのツアー客などの来館者に、見学だけでなくワークショップなどのプログラムを用意する。その際、材料費を自己負担してもらうことにより、記念として成果物などを持ち帰ることができるようにする。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 資料収集について、動画協会の協力を仰ぎ「杉並アニメーションミュージアム」で収集すべき資料を明確にすることでコストを抑えることは可能である。

協働等 点 検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題: 運営を動画協会に委託したことにより、民間のノウハウや経験を有効活用しワークショップや企画展を充実させることに成功し、来館者を増やすことができた。国や都のほか動画協会以外のアニメ関係団体などとも連携を図り人物アーカイブなどアニメ資料の収集を進めるとともに、アニメ関係の情報発信機能の充実を図っていく。	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)		

今後の 事業の あり 方 (中 長 期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後も、動画協会を中心に民間のノウハウや経験を有効活用し、更にワークショップや企画展を充実させていく一方で人物アーカイブなどアニメ資料の収集も進め、アニメ関係の情報発信機能の充実を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての障害要因と克服方法 人物アーカイブを充実させる上で、証言してもらいたいクリエイターの多くが多忙のため、スケジュール調整が困難であった。18年度より、動画協会への運営委託の中で企画担当スタッフを配し、クリエイターとの交渉を積極的に行い人物アーカイブの充実を図る。	
20 年度 方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 ワークショップや企画展を充実させていく一方で人物アーカイブをはじめとしたアニメ資料の収集を積極的に進めていくが、今年度と同程度の予算で進めていく。